

ばらんす

第40号

やりたいことを仕事に



起業特集



シリーズ

輝

大田原商工会議所主催の創業塾を受講し、
起業された5名の方々取材しました！

モダンカフェ しょう 笙

吉田 晶子さん

[出身：大田原 家族：母、夫]

- 1 義母の介護費用捻出、父の彫刻作品の展示場として、また夫婦に共通する教育、子育てに関するワークショップ開催の場所として。
- 2 資金面、スケジュール調整。
- 3 今まで関わる事のなかった方々とお知り合いになれ、視野が広がった。
- 4 お店の経営が順調にいき、ワークショップを開催していけるようになったら。
- 5 事業計画書は綿密に練り上げ、無理があれば作り変えること。いろいろ意見はあるけど、自分のコンセプトは変えない事。



🏠 大田原市紫塚1-10-9
定休日/日曜日、月曜日 ☎ 24-2756

秋元珈琲焙煎

秋元 健太さん

[出身：大田原 家族：両親、姉、祖父]

- 1 好きな事で生きていこうと決めたから。
- 2 資金面、また自分自身の気持ちのコントロール。
- 3 すべてが良かった。逆によくない事を探すのが大変なくらいです。
- 4 地元の人たちともっともっと密につながる事。
- 5 「夢は必ずかなう」とは思いませんが本気で覚悟して人生をかけてやれば何かしら形になると思います。
考えるより実践で頑張ってください。



🏠 大田原市親園2281-1
定休日/日曜日、月曜日、火曜日 📞 080-8874-8361

トータルリペア 田辺商事



田辺 哲也さん [出身：大田原 家族：両親]

- 1 会社員では会社の都合でしか動けず、自分の考えで働けないと思ったし、将来を考えると不安を感じていた。
- 2 資金調達と顧客の獲得。
- 3 時間、金銭面すべて自分の判断で決定し、動ける。
- 4 事業内容を増やしていきたいし、現在は車のリペア関連のみなので住宅関連のリペアにも挑戦していきたい。
- 5 自分のやりたいことのニーズ等をしっかりマーケティングし、家族の応援を得て、資金繰りも万全に！



🏠 大田原市住吉町1-7-25 📞 090-4389-9293

クライミングジム アーク

中村 健一さん

[出身：大田原 家族：妻]

- 1 身体を使って自然を楽しむ事を広めたい。クライミングのマナー等発信していきたい。
- 2 脱サラなので、仕事の内容がまったく違うため、勉強する事や覚える事が多かった。
- 3 仕事量は多く大変だけど、趣味から始まった事なので四六時中好きなことを中心にいられるのが楽しい。
- 4 ホームページ等で啓蒙活動を含め、ルールマナーを発信していく予定。ゆくゆくは、広範囲での多店舗展開。

- 5 あれこれ気に病むより、出来ることを考え行動、実践していくほうが良い。もし失敗したとしてもその失敗は経験になり、必ず自分にプラスになる。不安もあるかもしれませんが意外に何とかかなりです。



大田原市加治屋83-5 定休日/月曜日 ☎ 53-7090

5人の方を取材して...

みなさん、それぞれに輝いておられるなあと感じました。起業するという事は信念を貫く、勇気、また自分自身との戦いであるとおっしゃっていました。「それでも好きなことをしていきたい。」と起業され頑張っている姿！ステキでした!!

◎ 創業塾についてお尋ねになりたい方は！
大田原商工会議所 TEL 22-2273

- 1 なぜ起業しようと思ったのですか？
- 2 起業する上で大変だったことは？
- 3 起業してよかったことは？
- 4 今後の夢やキャリアプランについて
- 5 起業したいと思っている方へ一言



焼きたて 焼き菓子工房 Kabaco

福田 優子さん

[出身：大田原 家族：夫、子供]

- 1 中学生の頃からケーキ屋さんを開く事が夢だった。
- 2 資金繰り、経営方法。
- 3 従業員の大切さ、一人ではできないことを実感し、自分自身が成長した。
- 4 お菓子作り教室、育児との両立、住宅兼お店を持つこと(イタリア料理をやる夫のデザートとしてケーキが作れたら)。
- 5 勢いも大事！大変だけど自分のやりたいことが形になる。



TOKO-TOKOおたわら1F 定休日/月曜日(毎週)、火曜日(不定日) ☎ 47-5764

平成27年度 男女共同参画推進事業者表彰式及び市民力アップ講演会



1月23(土)午後、那須野が原ハーモニーホール(大ホール)にて、平成27年度大田原市男女共同参画推進事業者表彰式及び市民力アップ講演会が行われた。

今年の男女共同参画推進活動で表彰された事業者は、学校法人ふたば幼稚園と株式会社東武宇都宮百貨店大田原店の2事業者。

市民力アップ講演会は、東進ハイスクール講師の林修先生。「いつやるか？今でしょ!」というテーマで講演され、ほぼ満席となりました。

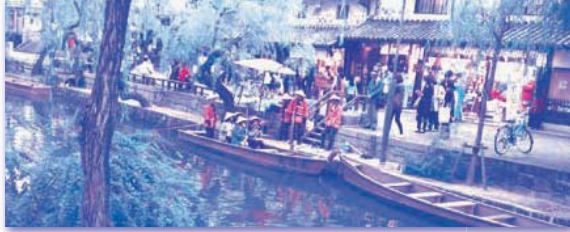


第32回

日本女性会議2015 倉敷

～ 思いやり ^{ひと}男女が集う 白壁のまち ～

日本女性会議2015倉敷は2015年10月9、10日に開催された。全体の参加者約2000名のうち大田原市からは12名参加した。



大田原市参加者

◇男性の家事・育児時間が長い程、第2子出生の割合が高い

開会式では、実行委員長の上岡美保子 就実大学特任教授が「男女参画とは異なった意見を認めあうこと。乗り越えるべき壁はそれぞれの心にある」と指摘。

基調報告では、内閣府の武川恵子 男女参画局長が「女性の有業率が高い程、出生率が高い傾向にある」「男性の家事・育児時間が長い程、第2子出生の割合が高い」と説明された。

また記念シンポジウムでは、倉敷市の伊東市長が「子育てするなら倉敷でと言われるまち」を目指し、国に先駆けて、学童保育6年生までの拡大、保育所の新設等、子育てと仕事が両立できる環境の実現に努めている」と話された。(平成26年の全国平均出生率は1.43人、倉敷市は1.63人)



子育てで日本一を目指す
倉敷市伊東市長(右)

◇一度も妻に仕事を辞めてと言わなかった

NHKアナウンサー武内陶子氏 ・ 東京工大教授上田紀行氏(夫婦)

記念講演で、上田氏は「ひとつの価値だけで人の価値を決めてはならない。女性特有の思いやり、ケアなどは指数では表せない。出来る子より魅力のある子を育てるには多様性を認めあい、自己肯定感を高め多面的に考えることの大切さ」を話された。

夫婦のトークでは上田氏は「一度も妻に仕事を辞めてと言わなかったことが最大の功績」と話し、武内さんは「女性が輝けば、社会がどう変わるかのところまできている」と締めくくった。

女性会議とは

日本女性会議は国連が女性の地位向上を目指し「国連婦人年」と「国連婦人の10年」を記念し1984年(S59)名古屋で開催され、今年で32回目を迎えた。

男女共同参画を柱に地域の課題を考えることを目的とした日本最大の男女共同参画会議である。今後、秋田(2016年)・苫小牧(2017年)・金沢(2018年)で開催決定。2019年には佐野市が手を挙げている。来年行われる「日本女性会議2016秋田 みつめて みとめて あなたと私～多様性(ダイバーシティ)とは～」に皆さんも参加してみたいはいかがですか。

一緒に「ばらんす」をつくりませんか？

編集委員募集!!

「ばらんす」(11月、3月発行)の編集ボランティアを募集しています。年齢・性別は問いません。

取り上げて欲しい情報が
ありましたらお寄せ下さい!!

編集 後記

大田原市男女共同参画推進事業者表彰式が1月23日、那須野が原ハートモニーホールで行なわれました。

パイプオルガン演奏や「いつやるか？今でしょ！」の林先生の講演など盛り沢山の内容で楽しい時間を過ごしました。

春はもうすぐ、健康で迎えましょう。

(荒牧)

編集委員 荒牧 孝道・岩元 利孝・栗原 敏子・藤沼 久子 (五十音順)

編集発行 大田原市総合政策部 政策推進課 市民協働係

〒324-8641 大田原市本町1丁目4番1号 TEL 0287-23-8715 FAX 0287-23-8748